

2019 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

提出用

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020 年 5 月 30 日

ふりがな	かぶしきがいしゃありがとうふぁーむ			
団体名	株式会社ありがとうファーム			
代表者名	役職名	代表取締役	氏名	木庭寛樹
連絡先	住所	岡山市北区表町 3-7-5		
	TEL	086-953-4446		
	E-mail	info@arigatou-farm.com		
	URL	https://www.arigatou-farm.com/		
設立年（西暦）	2014 年			
主な活動	就労継続支援 A 型事業所を運営。 共生社会の創造を障がい者の真の声と姿を届け、実現に貢献する。スローガン「知ることは、障がい無くす。」の社会への浸透を使命と考え アートとサービス業の 2 本柱で地域社会に開かれた事業所づくり。自立と幸せ実現のため、「働くこと・生活すること」の持続可能な環境創造と SDG s 経営への仕組みづくりを目指す。			
活動の対象者	ありがとうファームへ通所する利用者。 2019 年度岡山理科大学エンカルラボ、来場の協力企業、行政や自治体関係者、障がい者福祉関係者、利用者家族、一般来場者			
助成活動名	PARA メッセージフェス 2020			
助成額	600,000 円			
実施内容	目的	「開かれた事業所を創ろう。」との考えの元、アートとサービス業の 2 本柱で表町商店街に事業展開し、アートアトリエ・アクセサリー、木工工房・囲碁将棋サロン・食堂・ギャラリーカフェ・雑貨屋・クレープ屋などを運営。2018 年 10 月には、天満屋百貨店地下のフードコートに焼うどん専門店をオープンし成功、また岡山市役所地下のカフェをアートギャラリーとしても楽しめるカフェに変え運営を行うなど、一般企業と同じ土俵の上で勝負し、障がいがあっても仕事はできるという実績を作っている。2017 年は倉敷市を中心とし障がい者の大量解雇問題があった。利用者から、「我々の本当の声を届けたい！」「何もできないわけじゃない、やる気もあり、やり方を知っている。やり場がもっと欲しい。」というメッセージを伝えたいとなり、2018 年 8 月障がい者、企業、地域の方々 200 名を集客しイベントを開催。日本は共生社会創造に向けて動いているが、当事者である障がい者の真の声や姿をただしく届け、「知ることは、障がい無くす。」という活動を通して我々も社会に貢献できる人材であることを世間に知ってもらうことを目的とする。		
	内容	今回申請のイベントは、2018 年 8 月開催の「PARA メッセージフェス」の継続、発展事業である。今回のフェスの特徴は、障がい者・健常者、こども・高齢者などの垣根を超えた「人生をいきいきと堂々と生きると決めたものの祭り」と位置づけ、参加者全員で共生社会を作ろうというイベントにしたいと考えた。		

	① 大ホール：「ファミリーアートパーク」 障がい者が講師となり日頃のアート・ハンドメイドをワークショップで教えるイベントである。弊社のファミリーアートパークに来てくれているファンや新規募集で来るファミリーたち100名に対し教え創造活動をおこない、ハンドメイド作品と一緒に作成。ありがとうファームの講師は岡山県主催の「はっけよい」（小学生60名にハンドメイドを教えるイベント）や無印良品との20日間のコラボワークショップなどでも指導の実績がある。 岡山理科大学エシカルラボの学生がボランティアスタッフとして参加。 ② ガーデン：ガーデンランチ。 焼うどん屋台・ポップコーン・クレープなど仕事で日常に行っているメンバーがふるまう飲食コーナーを実施。整理券を用い、すべて無料で配布。 ③ 大ホール：「We are the Champion 大会」「グリーンハーツ LIVE ショー」 大ホールは前半は①のファミリーアートパークを開催するが、途中いったん全員退場していただき椅子を300席並べ、ステージイベントに転換して開催。 We are the Champion 大会では、1年間の仕事の成果発表をするとともに、利用者の思いのたけを来場者に伝える。 放課後等デイサービス・イチゴプラスのスタッフ、岡山理科大学のエシカルラボの学生と教授もゲスト出演した。 グリーンハーツ LIVE ショーでは、様々なゲストとともにステージを作り上げる。 ステージ出演者は ・障がい児の放課後等デイサービスのこどもたち ・ダウン症のキッズダンスチームのこどもたち ・支援してくれているプロシンガーソングライター ・ゴスペルクワイア ・イベントフィナーレは、ありがとうファームのメンバー25名が中心のコーラスグループ「グリーンハーツ」のステージ。25名のメンバーに加え、上記出演者・賛同者と一緒に熱い時間を過ごした。 当日は満席の330名の参加者があった。 パラフェスの目的「知ることは、障がいを無くす。」の理念が伝わったと思う。 子どもたちの参加が多くあり、親御さんも一体となり楽しみ、良い思い出となった。 ●ガーデンランチ 子ども50人 ●パラフェス 放課後デイの子ども15人 ダウン症のダンスキッズ8人 その親御さん 30人が参加してくれた。 企業からは100社ほどの経営者が参加してくれて、一般企業とおなじ土俵で仕事ができることも理解をいただいた。
今後の課題と対応策	自治体関係者、障害者福祉関係者の集客が少なかったと感じる。今後は積極的に声かけなどとして参加してもらい集客をする。

	来年は、支援校にも声かけをして、子どもたちを集客したいと考える。
参加者・利用者の感想など	利用者の感想 ・昨年よりも活気あるイベントになったと思います。自分はやればできるんだという事も感じました。皆様本当にありがとうございました。 ・沢山のの人に協力していただいたおかげで、無事に成功することができました。必死に努力した成果がきちんと本番に出て、成功した時の達成感は、それまでの苦労をふきとばしてくれるほどのものであり、なににも代えがたいものだと思います。 ・今まではどこか知られたくないと思っていた、私たちの思いも、活動やステージに立って知ってもらうことに価値を感じられるようになりました。 心豊かな一日になりました。ありがとうございました。 来場者の感想 ・パラフェスに参加させて頂き凄く感動と刺激を受けました。良い時間をありがとうございました。自分自身も喜んで頂ける事業を目指していこうと思います。どうもありがとうございました。 ・今日は、素晴らしい会に参加させて頂きました。心より感謝します。皆さん素晴らしいです。当たり前の事のように仕事を考えながらして、苦しんだり、楽しんだり、素直に表現し、感動しました！熱いものがありますね、皆さん。 ・まず、働いている現状や様々な工夫を知ることができて良かったです！そして、みなさんのつながりの強さも感じる事ができ、お互い助け合って生きておられる姿に感動しました！自己有用感や自己肯定感を持ってもらうことって、大切ですね。そのことも考えさせられ、勉強になりました。本当にありがとうございました！ ・こちらこそいつもありがとうございます。感動的なイベントでした。お手伝い出来て光栄に思いますし、自分自身も感性を磨かないと、皆さんと同じ土俵に入れないと感じ力が湧きました！ありがとうございました！これからも応援してます！理大の学生の新商品にも驚きましたー!!早速傘の取手カバーを装着しました！
写真の提出	     

